

## 目指す姿

地域、団体、行政(町)が協力して、健康寿命を延ばすとともに、一人ひとりが健康に対する意識を持ちながら、生涯を通じて健康づくりに取り組み、健康でいきいきと生活できるまちを目指します。

## 現状

- 健康でいきいきと生活できることを目指し、志免町健康増進計画「**健康しめ21<sup>28</sup>**」に基づいて、ライフステージに応じた、生活習慣病の予防につながる「食生活」「運動」「予防」「こころ・休養」「歯・口腔」「喫煙・飲酒」の6つの分野に、健康を支える「環境整備」を加えた7つの分野での健康づくりに着実に取り組んでいます。
- がん検診、特定健診の受診率向上のため、インターネットによる申し込みを開始しました。
- 生活習慣病の重症化予防のため、柏屋医師会、保健所などとの連携を強化しています。

## 課題

- 目指す姿を実現するためには、現在よりもさらに生活習慣を改善し、病気の予防と早期発見、早期治療による病気の重症化予防などが必要です。
- ライフスタイルの変化や社会、家庭での役割や責任が増える40代と50代への健康づくりが重要となっています。
- **人生100年時代<sup>29</sup>**を見据え、町全体で予防と健康づくりに取り組み、健康寿命を延ばしていくなければなりません。

## 町が取り組むべきこと

## 8-1 町民の健康意識を高め、健康管理・健康づくり活動を促進する

## ! 重点

- 「健康しめ21」に基づき、健康に関する意識向上を図り、ライフステージに応じた町民の主体的な健康づくりを支援します。 **総合戦略**
- 地域公民館など身近な場での健康づくりの機会を充実させます。 **総合戦略**
- **食生活改善推進会<sup>30</sup>**による親子料理教室や小学校での食育教育などを通した食育推進を支援します。 **総合戦略**
- 心の健康づくりについて、相談窓口の紹介などを行い、啓発するとともに、**ゲートキーパー<sup>31</sup>**などの自殺対策を支える人材を育成します。 **総合戦略**
- 新型インフルエンザや新型コロナなどのウイルス感染症に対する予防を啓発するとともに、予防接種を勧奨します。
- 望まない受動喫煙を防止するため、啓発を行います。

<sup>28</sup>町民一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組めるように、健康づくり推進運動を展開し、町民の「健康寿命」の延伸を目指すための計画。

<sup>29</sup>ある海外の研究によれば、2007年に日本で生まれた子供の半数が107歳より長く生きることと推計されており、100年という長い期間をより充実させるため、幼少期から社会人の学びなおしに至るまでの生涯にわたる学習のあり方や年齢を問わず、すべての人が元気に活躍し続けられ、安心して暮らすことのできる社会のあり方が問われている。

<sup>30</sup>正しい食習慣やバランスのとれた食事からなる毎日の食生活を健康の基本と考え、「私達の健康は私達の手で」を合言葉に、地域における食を中心とした健康づくりを推進し、栄養ボランティアとして活動する団体。

<sup>31</sup>自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることが出来る人。「命の門番」とも言われる。特別な資格は必要なく、家族や仲間の変化に気づき、声をかけ、話を聴き、専門窓口につなぐなど見守る役割を担う者。



## 8-2 生活習慣病を予防する

- 健康診断などの様々な機会を利用して、生活習慣病予防に関する啓発を行います。
- がん検診、特定健診を周知し、受診率を向上させます。
- 早期発見と早期治療により病気の重症化を予防するため、保健指導などを充実させます。

## 成果指標

指標名	現状値 (令和元年度)	目標の 方向性	目標値 (令和7年度)
心身がともに健康だと感じる町民の割合 <b>総合戦略</b>	68.7%	上昇	69.0%
日頃、健康のための取組(3項目以上)を行っている町民の割合 <b>総合戦略</b>	63.3%	上昇	67.8%
国保特定健診受診率	32.6%	上昇	60.0%

## みんなができること

### 町民・個人

- 検診を受けて、病気の早期発見と早期治療を行います。
- 普段から、健康を意識した生活を行います。

### 町内会・地域

- 健康教室を実施します。
- 食生活改善推進会へ参加し、地域教室で学びます。

### 企業・団体

- 従業員が検診を受けやすい環境を整えます。
- 行政が実施する検診や健康づくり事業の周知などに協力します。

## 関連する個別計画

計画名	計画期間
志免町健康増進計画「健康しめ21」(後期)	令和元年度～令和5年度
第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)	平成30年度～令和5年度
志免町公共施設個別施設計画	令和2年度～令和26年度



## 目指す姿

高齢者が地域や高齢者を支援する関係機関とつながり、地域で暮らす人たちとともに支え合い、住み慣れた所で、生きがいを感じながら安心して暮らすことができるまちを目指します。

## 現状

- 志免町の総人口に占める高齢者人口の割合を表す高齢化率は、平成22年は18%でしたが、平成31年4月には23%となり、着実に高齢化が進んでいることから、高齢者福祉は町にとってますます重要になっています。
- アンケート調査では、高齢者が地域で生活する時に特に心配になることとして、「健康」が上位に上がっています。
- これまで、安心して地域で生活できるように町民や関係機関と連携し、地域で包括的に支援する体制（地域包括ケアシステム）づくりを推進してきました。
- 平成31年4月から糟屋1市7町で粕屋医師会へ在宅医療・介護連携推進事業の委託を開始しました。

## 課題

- 高齢者が住み慣れた地域で、健康でいきいきと暮らし続けることができる環境づくりが必要です。
- 高齢化の進行に伴い、特に地域との関係が希薄な一人暮らし高齢者などの見守りや支援が必要です。
- 地域を基盤として、町民や保健、医療、福祉の関係者、行政が一体となって、多様な課題に取り組む包括的な支援体制の構築を引き続き行う必要があります。

## 町が取り組むべきこと

9-1 地域で高齢者を見守り、支援する ! 重点

- 町民の互助に対する意識を啓発し、町民主体による見守りを支援します。総合戦略
- 地域ケア会議<sup>32</sup>で地域課題を検討し、地域のネットワークを構築します。総合戦略
- 日常生活を支え合う体制をつくるため、町内会や関係機関と連携します。
- 在宅医療と介護を一体的に提供できる環境を整えるため、医療や介護の専門職と連携します。
- 認知症サポーター<sup>33</sup>を養成するなど、地域の認知症への理解と協力を促進します。
- 認知症になっても暮らし続けることができる地域の体制づくりを支援します。

## 9-2 高齢者の社会参加と生きがいづくりを支援する

- 高齢者が地域活動に参加できるよう、地域の交流の場となる居場所の情報を提供します。総合戦略
- 高齢者の地域活動を活性化するため、シニアクラブ<sup>34</sup>を支援します。総合戦略
- 高齢者が就労を通して生きがいを感じながら地域社会で活躍できるよう、シルバー人材センター<sup>35</sup>への加入促進を図るため、事業活動を支援します。総合戦略

<sup>32</sup>地域の状況により、地域資源を構築する方法や課題を把握し、解決する手段を導き出すための会議。高齢者個人に対する支援の充実とそれを支える社会基盤の整備を同時に進めていく、地域包括ケアシステムを実現する手法の一つ。

<sup>33</sup>認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族などの良き理解者として活動する者。

<sup>34</sup>高齢者を会員とする自主的な組織で、旧名称は老人クラブ。主な活動内容は、教養講座の開催、健康増進事業、地域社会との交流など。

<sup>35</sup>都道府県知事の指定を受けた公益法人で、高齢者にライフスタイルに合わせた「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」を提供し、健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上・活性化に貢献している。



### 9-3 介護予防と健康づくりによる自立した生活を支援する

- 転倒予防、フレイル<sup>36</sup>及び閉じこもり対策として、介護予防教室を住まいから歩いて通える公民館などで開催します。総合戦略
- 公民館などの介護予防教室に多くの高齢者が参加できるよう、周知と啓発を行います。
- 介護予防教室では理学療法士などの専門職が家庭でも行える運動などを紹介します。
- 介護予防と生活習慣病予防の一体化で高齢者の健康づくりを行います。

## 成果指標

指標名	現状値 (令和元年度)	目標の 方向性	目標値 (令和7年度)
暮らしやすい地域であると感じる高齢者の割合 総合戦略	58.7%	上昇	62.9%
地域生活に心配になると感じない高齢者の割合 総合戦略	12.9%	上昇	15.3%
自立高齢者(65歳以上で介護認定を受けずに生活している高齢者)の割合 総合戦略	85.8%	上昇	86.8%
要介護状態(要介護1~5)になっても在宅生活している人の割合	67.8%	上昇	68.2%
シルバー人材センターへの加入人数 総合戦略	283人	上昇	300人
公民館などの介護予防教室に参加した高齢者の延べ人数 総合戦略	6,187人	上昇	6,250人

## みんなができること

### 町民・個人

- 高齢期になってからも、地域や社会との関わりを積極的に持ち続けます。
- 互助に対する意識を持ち、高齢者への声かけや見守りを行います。
- 健康意識を高め、健康づくりを行います。

### 町内会・地域

- 高齢者への声かけをはじめ、地域で支え合うことのできる体制を構築するとともに、高齢者の地域活動への参加を支援します。

### 企業・団体

- 地域や町と連携し、支援活動や様々なサービスを通じて、高齢者の見守りや支え合いを支援します。
- 高齢者のニーズにあった支援サービスを提供します。
- 高齢者に向けた情報提供を行い、高齢者が活躍できる機会を増やします。

## 関連する個別計画

計画名	計画期間
志免町福祉総合計画	令和3年度～令和8年度
志免町健康増進計画「健康しめ21」(後期)	令和元年度～令和5年度
福岡県介護保険広域連合介護保険事業計画	令和3年度～令和5年度
志免町公共施設個別施設計画	令和2年度～令和26年度

<sup>36</sup>加齢とともに、心身の活力(例えば筋力や認知機能等)が低下し、健康な状態から要介護状態へ移行する中間の状態。

## 目指す姿

障がいがある人もない人も、誰もが自分らしく、安心して暮らし続けることができる基盤を整え、地域に暮らす人たちがともに支え合うまちを目指します。

## 現状

- 令和元年度末現在、身体障害者手帳所持者数は1,589人、療育手帳所持者数(知的障がい者)は382人、精神障害者保健福祉手帳所持者数は331人となっており、知的障がい者や精神障がい者は増加傾向にあります。
- 身体障害者手帳所持者のうち65歳以上の高齢者が全体の74.2%を占めており、障がい者本人や家族の高齢化が進んでいます。
- 役場福祉課内に、志免町障害者在宅介護支援センター<sup>37</sup>やこども発達相談員<sup>38</sup>を設置するなど、相談支援体制が整ってきています。
- 法改正や福祉サービスの拡充などにより、障がいがある人の社会生活の選択肢が増え、必要とする支援や社会参加のニーズが多様化しています。

## 課題

- 町民一人ひとりが障がいに対する理解を今後もさらに深め、適切な配慮ができるようになることが重要です。
- 障がいのある人が必要とする支援や社会参加のニーズの多様化に対応できるケアマネジメント体制の拡充が必要です。
- 家族(親)の亡きあとも安心して暮らしていくよう地域生活支援拠点等<sup>39</sup>を整備するとともに、障がいのある人本人の意思を尊重するための意思決定支援など、地域共生社会<sup>40</sup>の実現に向けた包括的な支援体制の構築が必要です。

## 町が取り組むべきこと

## 10-1 障がい者が地域で自立した生活ができるよう支援する

- 障がいのある人が一人ひとりの状況に応じた包括的支援や適切なサービスを受けられるよう、相談体制を充実させます。
- 障がいのある人が地域の一員として、安心して自分らしく暮らしていくよう、包括的支援の構築に向け、地域の関係機関と連携し、障がい者支援における地域課題や困難事例への対応方法などを協議します。
- 就労支援関係機関との連携を強化し、就労対策を充実させるとともに、地域の活動や行事での町民との交流を図り、障がいのある人の社会参加を促進します。
- 講演会やイベントの開催にあたり、障がいのある人もない人も安心して参加できるよう、企業や事業所へ啓発します。

<sup>37</sup>障害者手帳の所持者及びその家族からの相談への対応や、サービスの情報提供を行う施設。

<sup>38</sup>ことばや行動・対人関係等の発達の気になる子どもとその家族の相談に応じる子どもの発達を専門とする相談員。

<sup>39</sup>障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据えた、居住支援のための機能(相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門的人材の確保・養成、地域の体制づくり)をもつ場所や体制。

<sup>40</sup>制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会。



## 成果指標

指標名	現状値 (令和元年度)	目標の 方向性	目標値 (令和7年度)
障がいのある人にとって暮らしやすいと感じる障がい者の割合	37.8%	上昇	41.8%
障がい福祉サービス利用者のうち、在宅生活者の割合	80.6%	上昇	82.0%

## みんなができること

### 町民・個人

- 障がいについての講演、イベントなどに参加し、障がいの理解を図ります。
- 障がいのある人もない人も地域住民として、地域の活動に参加します。

### 町内会・地域

- 障がいのある人への声かけや見守りなどを行います。
- 障がいのある人が共に地域で生活できるよう理解を深め、必要に応じて支え合います。

### 企業・団体

- 「障害者差別解消法<sup>41</sup>」について理解し対応できるようにします。
- 地域や町と連携し、障がいのある人の支え合いを支援します。
- 支援事業所<sup>42</sup>は、障がい特性や個別のニーズに応じたサービスの提供や相談を行います。

## 関連する個別計画

計画名	計画期間
志免町福祉総合計画	令和3年度～令和8年度
志免町公共施設個別施設計画	令和2年度～令和26年度



<sup>41</sup> 全ての国民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的とする法律。(平成28年4月1日施行)

<sup>42</sup> 障がいのある人が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう障がい福祉サービス等を提供したり相談を受ける障がい福祉等サービス事業所。

## 目指す姿

けがや病気などの医療を受ける必要があるときや経済的に困窮したときなど、適正な社会保障を受けることができ、みんなが安心して生活を送れるまちを目指します。

## 現状

- 平成30年度に国民健康保険の制度改革<sup>43</sup>(広域化)が実施され、後期高齢者医療制度<sup>44</sup>とともに、県が運営主体となったことで、社会保障の財政基盤が安定した一方、被保険者の高齢化や医療の高度化、診療報酬の上昇などにより、医療費の増加が続いている。
- 社会保険の適用範囲の拡大により、国民健康保険の被保険者数は年々減少しており、被保険者数のうち、所得の低い人の割合が大きくなっています。

## 課題

- 町民が適正な社会保障を受けるためには、医療保険制度の安定が必要です。そのためには、給付の適正化や保険税(保険料)の収入確保だけでなく、保険者努力支援制度<sup>45</sup>など国の補助金なども有効に活用していく必要があります。
- 特定健診による病気の早期発見、早期治療と予防の強化、日頃からの健康づくりへの取組が重要です。
- 個人情報やプライバシーを十分に留意しながら、生活に困窮している人の早期把握が必要です。

## 町が取り組むべきこと

## 11-1 国民健康保険・後期高齢者医療の健全な運営につとめる

- 生活習慣病などを早期に発見し、重症化を予防するため、特定健診の受診率を向上させます。
- レセプト<sup>46</sup>点検をさらに強化するとともに、ジェネリック医薬品<sup>47</sup>の使用を促進します。
- 国民健康保険の安定的な運営のため、保険税の適正な賦課を行い、収納率を向上させます。

## 11-2 国・県の施策や関係機関を活用し、安定した生活ができるよう支援する

- 社会保障に関する施策や制度をわかりやすく町民に周知します。
- 支援を必要とする人の多様な相談に対応するため、支援機関の情報を広く提供します。
- 県福祉事務所など関係機関が行う支援を必要とする人へつなげます。
- 各関係機関や民生委員、町内会など地域と連携し、地域で支援を必要とする人を早期に把握します。

<sup>43</sup>国民健康保険の財政運営の責任主体が市町村から都道府県に変わり、制度の安定化を目指すもの。

<sup>44</sup>75歳以上の方々に医療を提供するとともに、その医療費を国民全体で支える制度。

<sup>45</sup>保険者(都道府県・市町村)における予防・健康づくり、医療費適正化等の取組状況に応じて交付金が交付される制度。

<sup>46</sup>診療(調剤)報酬明細書の通称で、病院などが患者に対して治療を行った際、費用(医療費)を保険者に請求する時に使用する書類。

<sup>47</sup>新薬(先発医薬品)の特許が切れたあとに販売される薬。新薬と同じ有効成分を含み、同等の効能・効果が得られ安価である。



## 成果指標

指標名	現状値 (令和元年度)	目標の 方向性	目標値 (令和7年度)
国民健康保険税収納率(現年分)	91.88%	上昇↗	92.50%
後期高齢者医療保険料収納率(現年分)	99.00%	上昇↗	99.20%
一人あたりの医療費(国民健康保険)	357千円	下降↘	350千円
一人あたりの医療費(後期高齢者医療)	1,237千円	維持➡	1,237千円

## みんなができること

### 町民・個人

- 医療給付費の現状を認識し、適正な医療の受診とジェネリック医薬品の利用を心掛けます。
- 特定健診を受診するなど、日頃から健康づくりにつとめます。
- 社会保障の制度や施策への理解を深めます。

### 町内会・地域

- 特定健診の受診とジェネリック医薬品の利用を呼びかけます。
- 必要なときに、行政や民生委員などとの連携ができる地域づくりを行います。

### 企業・団体

- 必要なときに、行政や地域などに協力できる組織づくりを行います。
- 生活困窮者への支援を行います。

## 関連する個別計画

計画名	計画期間
志免町健康増進計画「健康しめ21」(後期)	令和元年度～令和5年度
第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)	平成30年度～令和5年度

